

令和5年度 4年2組 2学期学級経営の反省

1日の気温が大きく下がり、体調を崩しやすい時期となりました。早朝の寒さに耐えながら、元気いっぱいに登校してくれる4年2組の子どもたちは、学習や運動に毎日一生懸命取り組んでいる姿が多く見られます。子どもたちの多くがその場の状況や善悪を踏まえて行動しようとする姿が見られ、4年生としてすでに落ち着きのある姿が見られます。一方で休み時間や昼休みには楽しそうにはしゃぐ姿も見られ、4年2組の魅力の一つだと感じています。3学期も子どもたちが、静と動の区別をつけて物事に取り組んでくれることを楽しみにしています。

- 1 相手の立場に立って考えることができ、互いに助け合おうとすることができる子どもを育てる。
- 2 進んで学習したり、友達と協力したりすることができる子どもを育てる。
- 3 自分で目標を立てて、最後まであきらめずに頑張ることができる子どもを育てる。

1 学習面

- ・ 人の話を聞くときの姿勢、環境を整える。
 - ➡ 机上に余計な物を出さないように指導。手遊び等が減っている。
 - ➡ 担任の声かけに応じてすぐに姿勢を整える子どもたちが増える。3学期には1度の声かけで全体が姿勢を整えられるようにする。
- ・ 既習範囲内の間違いを減らす。
 - ➡ 計算ミスが減ってきた。一方で問題の読み落としをはじめとした小さなミスが見られる。
 - ➡ 漢字学習は曖昧な状態で覚えていることが多く、小さなミスが続くことが多かった。
- ・ 社会に多く見られる苦手意識を改善できるようにする。
 - ➡ 調べ学習やグループ活動を増やすことで社会科自体への苦手意識は1学期ほど強くないと思われる。一方で学習する内容自体は1学期よりも身近にない学習をすることが多く、難易度が上がっているため、苦手意識を持たないような工夫が必要。

2 生活面

- ・ 相手のことを考えた発言、行動を心がける。
 - ➡ 授業中や休み時間に相手を攻撃するような発言が見られた。相手が間違っているからと言って攻撃してよい理由にはならない。
 - ➡ 道徳の時間や人権の学習で学んだことをいかしている姿や、なかには子どもたち同士での声かけも見られた。そういった姿を今後も学級全体に紹介していく。
- ・ ハチツボネブの徹底を図る。
 - ➡ 2学期後半から忘れる子どもたちの数が激減。最終的には全員が持ってくるようになるように今後も声かけを続ける。
- ・ 物を大切にせる習慣を付ける。
 - ➡ 落とし物に気がつく子どもたちが増える。

3 健康面

- ・ けがを減らす。
 - ➡ 自分の行動によってどのようなことが起こるのか、予測する必要がある。わざとではなくても自分がけがをさせたことに気づいたならまずは謝る。
- ・ 熱中症を含む病気の予防に努める。
 - ➡ 感染症予防のために手洗いうがいの徹底を引き続き行う。また、定期的な手洗いの指導を行ったり、給食前や外出後の手洗いの見届けも行う。